



図書室だより

Vol.55

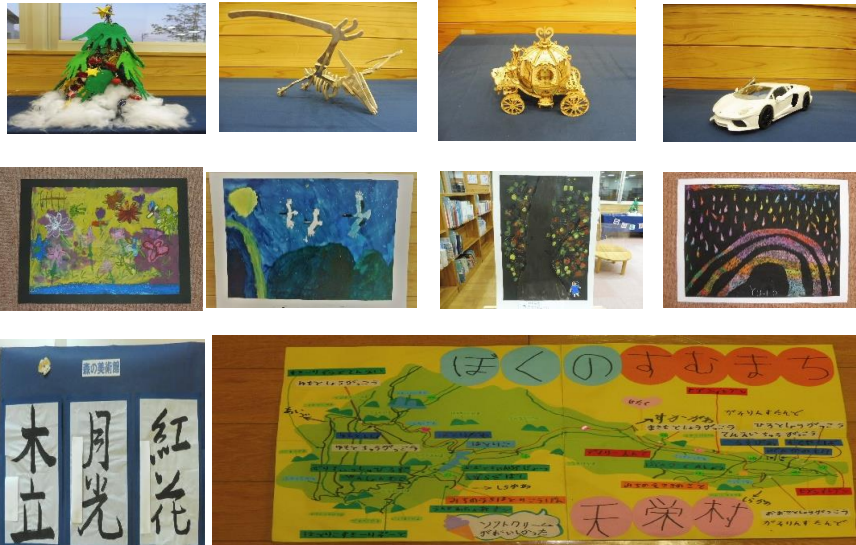
◆いつも、文化の森てんえい「図書室」をご利用いただきありがとうございます。

今年も残す所、あとわずかとなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか！！今年も沢山の村民の皆様にご利用して頂きました事に感謝し、お礼を申し上げます。来年も、皆様に喜んでいただける図書室を目指し、職員一同頑張りますので、よろしくお願い致します。

♪ 読み聞かせ会のお知らせ(*^▽^)

- ◆場所: 文化の森てんえい多目的ホール
- ◆日時: 12月20日(日) 14時00分~

◆森の美術館◆



【T.Sさんおすすめ】

『クスノキの番人』

東野圭吾・著
実業之日本社



好きな作家の一人である。読み始めると忍ち物語の世界にひきこまれる。勤め先を首になった腹いせに、退職金代わりにとばかり窃盗を働き、警察の厄介になる青年が主人公である。夢も、将来の展望もなく、自分の出自さえ卑下していた。寝るところさえあれば、と楠の番人をひきうけ、楠に祈念に訪れる人々を、冷ややかな目で見ていた。生まれてから、いい事なんか何もなかった。面倒なことは避けて通った。番人になると面倒なことばかり。面倒な年寄りの相手も避けられない。が、次第にそんなことが嫌ではなくなっている自分がいることに気づく。今日は、クスノキの周りをきれいにしようと思うのである。それこそがクスノキのご利益？



【K.Sさんおすすめ】

『ふたりの老女』 ヴェルマ・ウォーリス著 亀井よし子・訳 草思社文庫



これは、アラスカの北に住む先住民族のインディアンに語り継がれている物語です。極寒の冬と飢えから部族を守るためリーダーは、苦渋の選択をし、部族にとって負担となっていたふたりの老女を置き去りにします。仲間と家族からも裏切られ捨てられたふたりの老女。あまりの仕打ちに、怒りと悲しみで絶望の淵に立たされます。しかし、絶対生き抜いてやると決意してからのはたかりは凄いです。年寄りの意地、女の意地で老体に鞭打ち、極寒の冬を乗り切る為に長い旅に出ます。80過ぎと、それよりもちょっと若い老女ふたりが、長年培った経験と知識を駆使して、旅する姿はカッコいいです。こういう老女になりたいなと思いました。読み終えて気持ちがスカッとして、年を取って出来ない事も増えるけど、諦めなければ出来る事がまだまだ沢山あるんだと、老後が楽しみになりました。若い人にもそうでない人にも読んでみて欲しい一冊です。



◆新着図書のお知らせ◆

☆ 武田勝頼・1～3巻
 ☆ 共犯者
 ☆ ゼロの焦点
 ☆ 最低で最高の本屋
 ☆ 恋愛中毒
 ☆ ブラック・ティー
 ☆ ありふれた祈り

☆ 政治家の覚悟
 ☆ 続・夫の後始末

☆ アルルカンと道化師
 ☆ 滅びの前のシャングリラ
 ☆ 迷子のままで
 ☆ 隣はシリアルキラー
 ☆ 刑事何森 孤高の相貌
 ☆ ホカツと家族
 ☆ 私の家
 ☆ 囚われの国
 ☆ 駄目な世代
 ☆ 女だてら
 ☆ 三度目の恋
 ☆ 汚れた手をそこで拭かない
 ☆ 明るい覚悟
 ☆ 主夫のトモロー
 ☆ 赤い砂を蹴る

☆ 仲良きことはよき哉
 ☆ 時間革命
 ☆ 母を捨てるということ
 ☆ 高速パソコン仕事術
 ☆ 東京のミュージアム100

新田次郎
 松本清張
 松本清張
 松浦弥太郎
 山本文緒
 山本文緒
 村山由佳

菅義偉
 曾野綾子

池井戸潤
 凧良ゆう
 天童荒太
 中山七里
 丸山正樹
 アサダワタル
 青山七恵
 杉山隆男
 酒井順子
 諸田玲子
 川上弘美
 芦沢央
 落合恵子
 朱川湊人
 石原燃

齋藤茂太
 堀江貴文
 おおたわ史絵
 黒川希一郎
 芸術新潮編集部

☆ 樹木希林のきもの
 ☆ 考えない台所
 ☆ モノが私を助けてくれる
 ☆ こんな季節の味ばなし
 ☆ これってホルモンのしわざだったのね

高木ふみ
 本多さおり
 平野恵理子
 松村圭子



☆ せかいでいちばんママがすき
 ☆ あつかったらぬげばいい
 ☆ わんぱくだんのひみつきち
 ☆ もけらもけら
 ☆ ずーっとずーっとだいすきだよ
 ☆ ハンタイおばけ
 ☆ やさいはいきている
 ☆ なぞなぞのみせ

あいはらひろゆき
 ヨシタケシンスケ
 ゆきのゆみこ
 山下洋輔
 ハンス・ウィルヘルム
 トム・マックレイ
 ひさかたチャイルド
 石津ちひろ

おすすめ本を書いてみませんか!

対象は文化の森てんえい『図書室』にある本です。
 投稿文字数は200文字程度
 掲載者にはお礼として記念品を贈呈致します。
 皆様のご応募、お待ちしております。